# 野

二年

画数 11
筆順 ⺾ 日 甲 里 野 野
オン ヤ
クン の

## 成り立ち

「ものごとの〝手まえ〟」といういみの〝予（3年430）〟と〝里〟とをくみあわせてつくった字です。

「〝村里〟の〝手まえ〟にひろがっている〝野原〟」のことをあらわした字です。

〝野〟も〝原（2年122）〟も、「たいらなとち」のことをあらわした字で、「しぜんのままにくさが生えているところ」ですから、〝しぜん〟とか、〝しぜんのままのありさま〟といういみにもつかわれます。

## 使い方

▽はるになると、野原は、花やくさでいっぱいになります。野生の花は、小さいけれど、かわいくて、野原いっぱいさいているところは、とてもきれいです。

▽ぼくは野球がすきです。外野をまもっていて、六ばんだしやです。

▽名もしらぬ野草がたくさん生えていました。

## 熟語例

▽野原（くさなどがはえた、たいらな、ひろいとち）

▽野生（どうぶつや、しょくぶつが、しぜんのままにそだつこと。「アフリカは、野生どうぶつのほうこです」といえば、アフリカには、野生のどうぶつが、ひじょうにたくさんいる、ということです。）

▽野草（しぜんに生えている草）

▽野鳥（野生の鳥。「ぼうえんきょうで、野鳥をかんさつするのは、とてもおもしろい」などというふうに、つかいます。）

▽野蛮（しぜんのままで、文化がそだっていないこと。また、きょうようがなく、らんぼうなこと。）





# 友

二年

画数 4
筆順 一 ナ 方 友
オン ユウ
クン とも

## 成り立ち

手のかたちをあらわした〝ナ〟と〝又〟とが〝まじわる〟かたち、つまり〝握手（手を握りあうこと）〟するかたちをあらわした字です。

なかのよい〝とも〟だちをあらわした字です。

むかしの字は〝爻〟というかたちで、手と手とをかさねた字でした。むかしは、あい手の手の上に手をのせて〝友情〟をあらわしたからです。

## 使い方

▽ぼくには、友だちが大ぜいいます。でも、いちばん大すきな友だちは、木村くんです。

▽むかし、スペインというくにに、ドン・カルロという王子さまがいました。ドン・カルロには、ロドリーゴという、大へんなかのよい友だちがいました。二人はいつもいっしょでした。ロドリーゴは、さいごに、親友のドン・カルロのためにしにました。

## 熟語例

▽親友（親しい友だち。なかのいい友だち）

▽良友（良い友だち。じぶんにとって、ためになる友だち）

▽悪友（悪い友だち。じぶんに悪いえいきょうをあたえる友だち）

▽学友（おなじ学校で、いっしょにべんきょうをしている友だち）

▽旧友（むかしからの友だち。または、むかしの友だち）

▽知友（じぶんのことをよく知って、よいところをみとめてくれている友だち）

▽盟友（なにかをしようと、かたくちかった友だち）